

またまた出ました！！ 検修業務量、実態と全く違う！！

どんな計算？？まさか？データー偽装？？

会社は2月13日、2020年3月14日からのダイヤ改正の検修業務量として「仕業検査（指定本数）、申告処理及び折り返し本数等」を明らかにしてきました。

大阪仕業検査車両所では仕業検査23本、申告処理及び折り返し本数等（昼）20本、（夜）12本となっています。

2019年の検修業務量は仕業検査23本、申告処理及び折り返し本数等（昼）12本、（夜）11本となっていました。

昨年と比べると仕業本数は同じ。申告処理及び折り返し本数等（昼）8本増、（夜）1本増となっています。

しかし、大阪仕業検査車両所では実際に従事している担当社員からは「え～、なんで？こんなに本数が少ないのか！？」と疑問や怒りの声が上がっています。

そこで私たちが調査した過去10ヶ月分のデーターを明らかにします。

※小数点第二以下四捨五入）単位、本

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	平均本数
申告(昼)	22.5	22.5	22.5	22.5	22.5	22.5	22.5	22.5	22.5	22.5	22.5
申告(夜)	21.0	21.4	21.1	21.3	23.3	21.7	20.9	23.3	21.8	20.4	21.6
仕業	25.3	25.3	25.3	25.5	25.4	25.0	25.2	25.1	25.5	25.3	25.3

どうですか！皆さん！！

会社が2020年の検修業務量を多少増やしたとしても、実際の業務量とはほど遠い！！

そして問題は要員です。会社はごまかしの業務量でごまかしの要員を計算し、それで何とか回そうとしています。会社は今までも作業手順や要員配置をごまかして安全無視、業務・運用を優先させてきました。そのついで社員は「焦り」「疲労の蓄積」などで、ヒヤリハットやヒューマンエラーが多発しています。

私たちは実際の業務量に見合った要員確保とゆとりある作業時間の確保のために闘っていきます！！